

## 声明：総選挙の結果を受けて

立憲野党の一定の前進、自公与党など改憲勢力が 2/3 を占める結果。安倍 9 条改憲を許さない市民と野党の共闘を発展させ、運動の強化に全力をあげよう！

2017 年 10 月 26 日

全日本年金者組合  
中央執行委員長 金子民夫

年金者組合員のみなさん、衆院選でのご奮闘ご苦労様でした。野党と市民の共闘で安倍政権を退場に追い込もうと、全力をあげました。安倍首相は北朝鮮問題や少子高齢化などを国難だとして、「国難突破選挙」と位置づけ、モリ・カケ疑惑にはふたをしたまま 9 条改憲を公約に忍び込ませて本格的争点ではないかのごとく争点隠しをして選挙にのぞみました。

選挙戦直前に民進党前原代表が希望の党小池代表と連携してこれまでの野党間合意を裏切って市民と野党の共闘を破壊したことは、選挙の結果に大きく作用しました。民進党は四分五裂の状態となり、立憲民主党の立ち上げ、日本共産党の大局と大義に立った献身的な候補者おろしで、市民と野党 3 党の共闘が国民の期待にこたえる展開となりました。

消費税 10% への増税と社会保障費の抑制が大きな争点になり、貧富と格差の拡大、雇用不安と非正規の拡大、低所得層の増大など問題が山積しながら十分に追及するにはいたりませんでした。国会で多数を占めた安倍首相は 9 条改憲のため国民投票をすると提起しています。これに対し市民連合も野党 3 党も大きな運動でストップをかけるとしています。こうした運動と連携して、年金者組合は、十分な社会保障費の確保で貧富と格差の拡大にストップをかけ、「安倍 9 条改憲 NO！」の 3000 万統一署名を大々的に展開し、ひきつづき野党と市民の共闘に力を尽くします。

11 月から秋の「仲間づくり」月間に入ります。選挙戦のなかでつながった周囲の多くの人びとに声をかけ、年金者組合に入ってもらいましょう。いっしょに改憲ストップ、社会保障の増進、消費税増税ストップの運動の輪を大きく広げようではありませんか。